

## 令和2年度 東京都立墨田川高等学校 学校経営計画

東京都立墨田川高等学校長  
寺島 雅夫

### 1 目指す学校像

#### (1) 教育目標

- ①「知性」 — 明澄な知性
- ②「創造」 — 創造への努力
- ③「自主」 — 自他の敬愛と自律の精神

#### (2) 学校の使命を果たすために

本校は進学重視型単位制高校及び進学指導推進校として、国公立大学や難関私立大学への進学を実現するために必要な学びに取り組む学校である。また、東京府立第七中学校以来の90余年に及ぶ歴史をもつ伝統校として、21世紀をたくましく切り拓く社会的リーダーの育成が期待されている。

教科の学習を通じて得るものと特別活動で得るものを一体として、高潔な人格を育てていく。「文武不岐」と表現される府立七中・七高・都立墨田川高校と継承されてきた全人教育の伝統を踏まえ、教育活動の一層の充実、発展を図っていく。

教育課程を以下の方針で実施していく。

- ① 学習面については、単位制高校の利点を生かし、「予習、授業、復習、自発的学習」の学びサイクルを生徒自ら実践し、高い学力を身に付け、進路希望の実現を図る。
- ② 部活動については、けじめのある活動を行い、技術力等を高めることとともに創造性や社会性を育て、有為な社会人としての資質を培う。
- ③ 学校行事については、質の高い活動を行うことにより、望ましい人間関係を形成し、公共の精神を育成するとともに、協働意識や学校への帰属意識を高める。
- ④ 規律正しい学校生活により、自ら判断して行動できる密度の高い教育活動を実施していく。

### 2 中期的目標と方策

#### (1) 3年間を見通した進学指導マネジメントシステムの構築

- ① 将来の生き方を考える進学指導を入学時から体系的・組織的に行い、3年次の4月までに生徒の志望校を明確に決定させる。
- ② 3年間を見通した進学指導計画に基づく外部模試や面接等を活用し、生徒の進学希望に応じた科目選択指導を行う。
- ③ 入試結果や定期考査、学力テスト、外部模試等の計画的・組織的な定点観測や系統的・統一的な進学指導を進める。

#### (2) 生徒の希望する大学進学を可能にする学力の伸長

- ① 授業を大切にしたい学びサイクル（予習→授業→復習→自発的学習）を定着させ、大学入学共通テストに対応できる学力の獲得を目指して効果的な学習指導を行う。
- ② 基礎基本から鍛える学習指導と長所を伸ばし短所を補う習熟度別授業・少人数授業の実施を通して、生徒一人一人の学力を教科担当者が責任をもって高める。
- ③ 校内研修や教科会・科目担当者の打合せを通して、生徒の学力をより高める授業が展開できるよう、組織的に教科指導力の向上を図る。

#### (3) 進学校としての学校行事（体育祭・文化祭・合唱祭）との両立

- ① 生徒の創造意欲を高め、新しい時代のリーダーにふさわしい指導力とコミュニケーション能力を培う教育活動を学校全体で創意・工夫しながら推進する。

- ② 生徒の実行委員会組織を中心とした企画・運営等を通して、集団の中で個性を育み、自主性や社会性、規律性を高めていく。
- ③ 進学校としての組織的な学校行事指導を通して、生徒の自己有用感や帰属意識を高めさせる。
- (4) 進学校としての部活動の両立
  - ① 部活動の指導方針を明確に定め、年間活動計画に基づく指導・改善を通して、公立進学校として在るべき部活動を指導していく。
  - ② 校内活動のみならず、他校との交流や発表等を通して、本校のよき伝統や校風を自覚させ、時間を大切にしたいはじめのある部活動を実施していく。
  - ③ 学校保健計画と連携して部活動における安全教育を進めるとともに、体罰の無い健全な指導を展開する。
- (5) 意図的・計画的・組織的な指導体制の構築
  - ① 分掌・教科・委員会等が組織として学校改革に取り組む学校づくりを進めるために、部会や教科会・教科主任会等における議論をもとに、企画調整会議を中核とした学校運営を進める。
  - ② 計画的・段階的な人事配置をすすめ、教育活動を点検・改善できる組織的な指導体制を構築する。
  - ③ PTAや同窓会、スクールカウンセラー、地域、有識者等による外部評価や学校運営連絡協議会を活用し、学校運営や教育活動等の点検・改善に努める。
- (6) 教育環境の整備・充実
  - ① 自律経営推進予算を有効に活用し、施設・教育環境の整備に投資していく。
  - ② 東京都教育委員会及び学校経営支援センター等と連携し、教育環境整備に努める。

### 3 今年度の取組目標と方策

#### (1) 教育活動の目標と方策

- ① 進学重視型単位制高校としての教育課程の充実
  - ア 国公立大学受験に対応する進学重視の教育課程の点検、分析とそれに基づく改善
  - イ 土曜授業や習熟度別・少人数授業、特講等の点検、分析とそれに基づく改善
- ② 進学指導マネジメントシステムの再構築
  - ア 学力テストや外部模試等の定点観測を活用した進学指導システムの点検・改善
  - イ 教科主任会議と計画的な教科会の実施による学習指導の点検・改善
- ③ 学校生活に対する意識の深化
  - ア 計画的・開発的な生活指導による自律的学習習慣の確立
  - イ 学校行事や部活動によるよき伝統の継承と新たな歴史の創造
- ④ 広報・募集活動の充実
  - ア 中学校、学習塾その他関係団体への効果的な広報・募集活動の企画・立案・実施
  - イ 魅力ある学校見学会や説明会の実施とホームページ等による組織的な情報の発信

#### (2) 主な目標と方策

- ① 教育課程の管理と学校運営（教育課程の改善）
  - ア 習熟度別授業や少人数授業、選択科目等を点検・改善・精選し、国公立大学や難関私立大学への合格を目指して一層の充実を図る。
  - イ 生徒の体力向上に、授業及び特別活動等の教育活動全体で取り組んでいく。
  - ウ オリムピック・パラリンピック教育の理念を踏まえ、ボランティアマインドや豊かな国際感覚の涵養に取り組んでいく。
  - エ 障害の有無に関わらず、特別な配慮や支援が必要な生徒に対して、「合理的配慮」のもと、学校として可能な支援をしていくとともに、特別支援委員会等、組織的効果的な指導や支援を行う。

- オ 外部評価や学校運営連絡協議会からの提言や意見を課題解決の方策として積極的に取り入れ、学校改革を推進する。
- カ 教職員全体の情報セキュリティに対する意識を向上させるとともに、出退勤や研修等、教育公務員としての服務に疑義がもたれないように努める。
- キ ICTの活用や校務の効率化を図るとともに、「My定時退勤日」や学校閉庁日を設けるなど、教職員のライフ・ワーク・バランスの実現に向けた取り組みを行う。
- ク 進学重視型単位制高校として積極的かつ効率的に予算を執行するとともに、効果的な予算編成を行う。また、定期的な施設・設備の点検や修繕を実施し、学習環境の整備に努める。
- ② 学習指導（生徒一人一人の学力向上）
- ア 授業を大切にしたい学びサイクル（予習→授業→復習→自発的学習〔発展・深化学習〕）の定着を図る。
- イ 学力スタンダードを活用し、教科指導における学習到達度を明確にするるとともに、生徒の学力や進学希望先を見通した習熟度別授業で、生徒の長所を伸ばし短所を補い学力の向上を図る。
- ウ 年2回のセンターレベルの実力テストや外部模試等の教科分析を通して、授業改善を図り、大学入学共通テストに対する生徒の学習意欲の向上や応用力を身に付けさせる。
- エ 英語教育推進校として、生徒が「読む、書く、聞く、話す」の4技能をバランスよく高められるように指導する。
- ③ 進路指導（生徒一人一人の進学希望の実現）
- ア 学級担任・教科担当者のみならず、5教科の教科主任・副主任との連携を更に強化し、進路指導部を中心とした進路指導方法・内容の統一性を高める。
- イ 長期休業中の講習は、志望大学の受験に対応した内容であることを明確にするるとともに、生徒が部活動との両立が図れるように工夫した提示を行い、大学受験に備える。
- ウ 「3年間を通した進路指導計画」をいずれの年次（学年）も確実に実施していく。
- エ 自主学習教材の活用を推進し、1年次生から家庭学習の充実を図る。手帳を用いたスケジュール管理により計画的な家庭学習が行えるように指導していく。
- ④生活指導（規範意識の確立）
- ア 都立学校生活指導指針を踏まえ、学校のルールを厳守した節度ある生活を指導するとともに、委員会や部活動等の指導においても挨拶や服装等の指導・徹底を図り、時間を大切にしたい品位ある学校生活を確立していく。
- イ 安全・防災教育の推進を図る。  
 ＊セーフティ教室や避難訓練、宿泊防災体験活動等を通じた安全や災害に対する意識の醸成  
 ＊情報モラル推進校の経験を活かし、生徒に通信機器等を適切に使用することを指導するとともに、近隣の小学校等において啓発活動や普及を行う。  
 ＊警察等と連携して、地域における交通安全活動にも積極的に参加する。
- ウ 体罰禁止といじめの総合対策に基づいた対応が行えるように、アンケートの実施及び結果の適切な分析を行い、迅速・適切な対応を行う。
- エ 「総合的な学習の時間」やホームルーム、「命の講話」など様々な機会を通して、命の大切さを学ばせるとともに、スクールカウンセラーや外部機関とも連携し、いつでも悩みを相談できる環境を整える。また、「いじめ調査アンケート」は年間3回実施し、自殺の未然防止に資する。
- オ 食物アレルギーや食生活の自己管理を通じた健康の保持増進を図る。
- ⑤ 特別活動（学校生活の満足度の向上）
- ア 生徒会や委員会活動について計画的な指導を行い、ホームルーム活動や学校行事を通して、学校生活の満足度を高めるとともに、生徒の社会的な自主性・自律性・規律性を高める。
- イ 部活動の指導方針に基づき、定期考査や学校行事等に配慮し、組織的な指導を通して、規

律ある部活動へと発展させ、生徒の満足感や充実感を高める。

⑥ 研究・研修

ア 教科や分掌における四半期ごとのまとめを内部評価とし、次の四半期への改善計画を立案・実施する。

イ 年間17回の計画的な教科会や科目担当者打合せの協議を通して、授業改善を図るとともに、授業力のみならず進学のための教科指導力を向上させる。

ウ 長期休業日等における計画的な研修や学校外における進学指導方法・内容等の情報収集・活用を通して授業力と進学のための教科指導力、並びに生徒指導力を向上させる。

⑦ 広報・募集活動

ア ホームページ等を積極的に更新し、本校の教育活動の周知を図る。

イ 学校説明会や学校見学会、自校作成問題対策会等を中学校の進路指導とリンクさせ、募集活動を充実させる。